

令和2年度第2回広島県公立大学法人評価委員会議事趣旨

- 1 開催日時：令和2年8月25日（火）13：00～14：00
- 2 開催場所：県庁本館501会議室
- 3 出席委員：曾余田委員長・浅田委員（Web参加）・木原委員・福田委員
- 4 議 題：令和元事業年度県立広島大学実績評価（案）について

（評価委員：○，事務局：●）

【小項目評価について】

- No.26「海外留学派遣学生数」の評価について、大学の自己評価「3」を「2」とすることについて、新型コロナウイルス感染症の影響が出ているのであれば、その点を考慮して評価してもよいのではないかと。
- 新型コロナウイルスの影響で、春休み期間中に予定していた短期留学等の参加人数が減っているが、新型コロナウイルス以外で実績が伸びなかった面も大きい。
- 新型コロナウイルスの影響を把握するためには、前年度の2～3月における留学実績と比較してみる必要があるのではないかと。
- 過去の実績と比較して、新型コロナウイルスの影響を確認する。
- その他の小項目については、特に問題ないと思われるため、評価を確定させてよいか。
- （一同）異議なし。

【大項目評価について】

- 5つの大項目のうち、「B評価」が1項目、「A評価」が4項目であるが、全体評価は、「順調」ではなく「おおむね順調」となっている。評価の妥当性を確認したい。
- 最終的な全体評価は、これまでも大項目の評価を出して、一番低いところを全体の評価として整理している。今回の評価はそのルールに則っている。
- 「B評価」とした「教育の質の向上」は、大学が最も力を入れて成果の上がっている項目でもある。小項目で評価「2」があるから、自動的に大項目が「B評価」となる評価方法は、見直した方がよいのではないかと。
- 例えば、5つの大項目の中でウェイト付けをした評価方法にすれば、大学が力を入れている部分や、特色がより分かりやすくなるのではないかと。
- また、県立の大学であるため、「地域貢献」も重要な項目である。大学として力を入れるべき項目に、ウェイトを付けるなどの工夫も必要。
- 来年度以降の評価方法について、項目にウェイト付けをするなど、検討させていただきたい。
⇒ 委員の意見の評価案等への反映については、委員長に一任の上、事務局と調整することです承。